

「ゆるやかな見守り」で安心して住み続けられる深沢に

深沢会議では、介護保険制度に基づき、生活支援コーディネートーターが事務局を務め、深沢地区連合町内会、深沢地区社会福祉協議会、民生委員児童委員の代表者、地域包括支援センター職員が集まり、昨年七月から深沢地区の高齢者福祉について話し合っています。

深沢会議で考案された「ゆるやかな見守り」は、住民同士が負担を感じない程度に見守り合い、異変に気づいたら「連絡先」に連絡し、早期発見対応に繋げるものです。

この十月から、深沢地区の各自治町内会で、順次活動が開始され、「子供から高齢者まで安心して住み続けられるまち深沢」の実現に取り組まれます。

地域包括支援センターも地域の皆様とともに、この活動の一助となるよう努力して参ります。

「深沢会議」資料より抜粋（裏面もあり）



住民主体の地域づくり「深沢会議」その②



第55号
秋号
鎌倉市
地域包括支援センター
湘南鎌倉

発行人責任者
宮谷清美
0467-41-4013



【担当地域】
山崎
梶原
(一丁目～五丁目)
寺分
(一丁目～三丁目)

認知症サポーター養成講座 ご紹介



プログラム(約90分)
・認知症サポーターとは
・認知症の説明
・DVD(対応方法について等)
・ディスカッション



「やまぼうしの会」の皆様17名参加
(梶原山町内会館にて)

自主グループ「やまぼうしの会」の皆様に向けて、認知症サポーター養成講座を開催いたしました。認知症サポーターは、認知症の人やその家族の応援者です。認知症を正しく理解し偏見を持たず、温かい目で見守ることから始まります。

認知症サポーター養成講座は場所を問わず、受講生5人以上であれば開催ができます。お問い合わせは、地域包括支援センターまでお気軽にご連絡ください。

講座終了後、オレンジカードを
差し上げます！

認知症サポーター



イメージ



地域包括支援センターは鎌倉市から委託された公的な相談機関です。秘密厳守のうえ、相談・支援にあたります。

「ゆるやかな見守り活動」

一緒に取り組みませんか

お互い気にかけてあう地域づくり

地域ではちょっとした心がけで安心で安全な地域づくりにつながります。

以下の様な状況に気づいて心配に思った時、一言連絡をいただけませんか。

たとえばこんなとき・・・

最近道で会っても元気がない

新聞・郵便物がたまっている

昼間でも雨戸がしまっている

ゴミがあふれている・家から異臭がする

夜になっても家に
明かりがつかない

何回も同じこと
を聞いてくる

気になるサインを
☆見落とさない
☆放置しない
☆すぐに連絡する

顔や手足に内出血や傷がある

最近見かけなくなった

怒鳴り声や泣き声をする

今 まで

- 無意識に
- それぞれがバラバラに
- 気になることがあっても「まあ大丈夫だろう」

こ れ か ら

- 少し意識的に
- ご近所と連携を取りながら
- 気になることがあったらすぐに連絡・連携・相談

「あれ、どうしたんだろう？おかしいな」
気になるサインがあった時には、すぐに連絡・相談しましょう

生命にかかわる場合、虐待や死亡
が疑われる場合にはすぐに通報

ご近所やその
人の知り合い

地域の民生委
員や自治会長

警察・消防